

アジア人材還流学会 フエ国際セミナー2023

～フエ大学外国語大学（ハイフレックス開催）～

2023年9月17日（日）

ベトナム時間 7:30-18:00 日本時間 9:30-20:00

<発表申込受付 開始日：2023年5月8日（月） / 参加締切日：2023年9月1日（金）>

開催趣旨：日本語教育を巡る日越ステイクホルダーの協働

異文化理解を通して新たな理念の創造を目指す「協働」による議論の場の実現

【主催（共同）】アジア人材還流学会（看護と介護の日本語教育研究会・ビジネス日本語研究会・協働実践研究会）／フエ大学外国語大学

【助成】公益財団法人 双日国際交流財団
ベトナム国際交流基金日本文化センター
学校法人 エール学園

【協賛】ハノイ国家大学日越大学／ダナン大学外国語大学【協力】日本語教育方法研究会

プログラム概要

時間(日本時間は+2時間)

受付開始

7:00

主催者挨拶

フエ大学外国語大学 学長 PHAM THI HONG NHUNG ファム・ティ・ホン・ニユン
アジア人材還流学会 会長 西郡 仁朗

7:30 - 8:00

基調講演

1：双日ベトナム会社社長 木ノ下忠宏氏
（ベトナム日本商工会議所会頭・日越友好年特別委員会委員長）
講演タイトル『ベトナムの経済発展に於ける双日の役割』

8:00 - 9:00

2：学校法人エール学園 キャリア支援本部長 西村康司氏
講演タイトル『留学生は平和の使者PROJECT 日本で就職・起業して世界で平和の使者として活躍しよう！』

研修・ワークショップ1 協働実践研究会

【研修】「内省・協働できる教師」

【ワークショップ】「ティーチング・ポートフォリオ作成体験ーベトナムにおける対話型教師
研修を目指してー」

登壇者：金孝卿（麗澤大学）/池田玲子（昭和女子大学）/山田真知子（大阪大学）
HO DANG MY AN ホー・ダン・ミーアン（フエ大学外国語大学）
NGUYEN THI QUYNH NHU グエン・ティー・クイン・ニュー（フエ大学外国語大学）

9:00 - 11:30

ランチタイム

11:30 - 12:30

実践報告・研究発表（口頭発表）

研究発表1・2・3・4（現地発表） 研究発表5・6（オンライン発表）

12:30 - 14:30

ティータイム

14:30 - 15:00

研修・ワークショップ2 看護と介護の日本語教育研究会

【研修】「介護の漢字とオノマトペの習得支援」

登壇者：遠藤織枝（元文教大学）/吉永尚（園田学園女子大学）
Bùi Minh Khôi ブー・ミン・コイ（日越大学）

【ワークショップ】「介護の日本語教育にピア・ラーニングをもちいるー理解深化をめざして」
登壇者：神村初美（日越大学）/西郡仁朗（東京都立大学）

研修・ワークショップ3 ビジネス日本語研究会

【研修・ワークショップ】「企業とつながる、企業とつくる日本語学習」

登壇者：近藤彩（昭和女子大学）/栗原由加（神戸学院大学）/倉本文子（カイ日本語スクール）
LE THI HONG VAN レー・ティー・ホン・ヴァン（フエ大学外国語大学・日本文化学部）
HOANG THI LAN NHI ホアン・ティー・ラン・ニー（フエ大学外国語大学・日本文化学部）
NGUYEN THI HUONG TRA グエン・ティー・フオン・チャー（フエ大学外国語大学
日本語・日本文化学部）/戸崎典子（株）アルプスビジネスクリエーション

15:00 - 17:30
(同時進行)

閉会式 閉会のことば 副会長 堀井恵子

17:30 - 18:00

発表申込

以下のリンク、または右側のQR
コードからお申し込みください。
<https://onl.bz/11u1bgL>



お問合せ

アジア人材還流学会フエ国際セミナー2023 事務局
メール：hueseminar2309@gmail.com

アジア人材還流学会フエ国際セミナー2023 (HP)

<https://hueseminar202309.jimdofree.com>

開催概要

アジア人材還流学会国際セミナーの目的は、アジアと日本における外国人材の雇用と意義を考える趣旨のもと、ベトナム人材の労働と定着について、各機関および教育研究組織との情報共有・交流促進を推し進め、ともに考え、議論し、連携・協働を図ることである。2020年に始まる世界規模の新型コロナウイルス感染症蔓延の状況は、国と国との連携や人と人との関係構築がいかに重要であるのかを再認識することとなった。このような背景のもと、今後のベトナムと日本における外国人材の雇用と定着のための新たな関係構築のあり方について、日本語教育を巡るステイクホルダーが参集する議論の機会をもつ。

- ・日本とベトナム、両国の連携・協働の促進に寄与する人材の育成と課題の共有
- ・日本とベトナム、両国の教育現場・職場環境についての知識情報の共有
- ・日本とベトナム、両国の今後の協力関係における方針の検討
- ・日本とベトナム、両国の有機的な関係体制構築のための課題設定

日本では多くの企業がベトナム人の雇用を進めると同時に、ベトナムを魅力的な市場と捉えている。一方で、アジア諸国および海外諸国との連携により、持続可能な発達を目指そうとするベトナムの現在（いま）もある。そのため、この両国に求められる優秀な日本語人材を育成する研究、教育機関の役割は今後ますます重要となってくる。

近年の日本語教育界では、単に言語知識の習得を目的とする教育から、学び手同士が学び合いを通じて、グローバル社会の中で文化背景の異なる他者との人間関係を構築しながら生き抜くための「社会的実践力」と「学習者の専門性」を重視した日本語教育への転換が進められている。とくに、日本語人材が急増しつつあるベトナム人の教育のあり方に着目した日本語教育関係者の意識については、まだまだ不十分な状況だといえる。また、ここには日本語教育に直接関わるベトナム人日本語教師の育成ということも重要な課題として含まれてくる。

そこで本セミナーでは、こうした教育の転換や教師育成の課題を設定し、日本とベトナム日本語教育関係者、および日本語人材を雇用する企業・事業関係者との間で共通理解をもち、将来を見据えた日本語人材育成のあり方について議論する場を設けることとした。



プログラム要旨

研修・ワークショップ

研修・ワークショップ1 協働実践研究会

【研修】「内省・協働できる教師」

【ワークショップ】「ティーチング・ポートフォリオ作成体験ーベトナムにおける対話型教師研修を目指してー」

登壇者：金孝卿（麗澤大学）/池田玲子（昭和女子大学）/山田真知子（大阪大学）

HO DANG MY AN ホー・ダン・ミーアン（フエ大学外国語大学）

NGUYEN THI QUYNH NHU グエン・ティー・クイン・ニュー（フエ大学外国語大学）

グローバル化が進む中、社会の変化に対応しながら教師個人が実践を改善していくためには、継続的学びの場の形成が必要となります。これまで協働実践研究会では「対話型教師研修」の活動方法の一つとして「ティーチング・ポートフォリオ」を用いた内省活動を紹介してきました。本研修・ワークショップでは、ティーチング・ポートフォリオ作成体験を通じて、ベトナムの日本語教育における意義と可能性について話し合います。

研修・ワークショップ2 看護と介護の日本語教育研究会

【研修】「介護の漢字とオノマトペの習得支援」

登壇者：遠藤織枝（元文教大学）/吉永尚（園田学園女子大学）

Bùi Minh Khôi ブー・ミン・コイ（日越大学）

介護の現場では、日常生活では目にしないような難しい漢字語がたくさん使われています。その現場で働くためには介護用語をマスターしなければならず、難しい漢字語もそのいくつかは習得する必要があります。また、介護の現場では、外国人にとって学習や運用が難しいとされているオノマトペもよく使用され、基本的なものは習得しなければなりません。本研修では、これらの習得や支援について、フロアの皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

【ワークショップ】「介護の日本語教育にピア・ラーニングをもちいるー理解深化をめざして」

登壇者：神村初美（日越大学）/西郡仁朗（東京都立大学）

日本は人手不足から外国介護人材の受け入れを加速させていますが、長期就労においては国家試験の合格を課す向きにあります。ここから送り出し国・ベトナムでは、基礎的な日本語運用能力の養成に加え、介護の専門分野に繋げるための橋渡しの介護の専門日本語教育が重要になると言えます。そこで、ピア・ラーニングを用い、どのように介護の専門日本語教育に繋いでいくのかを体験するワークショップを企画しました。この課題についてフロアの皆さんと一緒に考える機会としたいと思います。

研修・ワークショップ3 ビジネス日本語研究会

【研修・ワークショップ】「企業とつながる、企業とつくる日本語学習」

登壇者：近藤彩（昭和女子大学）/栗原由加（神戸学院大学）/倉本文子（カイ日本語スクール）

LE THI HONG VAN レー・ティー・ホン・ヴァン（フエ大学外国語大学・日本文化学部）

HOANG THI LAN NHI ホアン・ティー・ラン・ニー（フエ大学外国語大学・日本文化学部）

NGUYEN THI HUONG TRA グエン・ティー・フオン・チャー（フエ大学外国語大学

日本語・日本文化学部）/戸崎典子（株）アルプスビジネスクリエーション）

日本語教育を進めていく上で、特に働くことを目的とした場合、日本語教育機関や教員が企業とつながることは非常に重要です。日本語を使って働くとはどういうことか、どのような力が必要なのか、最新の考え方や複数の実践を紹介いたします。ワークショップでは、ベトナム人講師によるケース学習を体験していただきます。日本側の教員とベトナム側の教員が協働でつくる研修・ワークショップです。企業の方も参加予定です。この機会を通じて企業とつながる、企業とつくる日本語学習について一緒に考えてみましょう。

主催（共同）団体の紹介

アジア人材還流学会

（看護と介護の日本語教育研究会・ビジネス日本語研究会・協働実践研究会）

フエ大学外国語大学

①看護と介護の日本語教育研究会：

日本語でのコミュニケーションを軸に、外国人看護・介護人材が日本国内でも本国でも尊重され活躍できる体制の提言・教材開発・各種の研修を行ってきた。今後ベトナムからは、特に、EPA、在留資格「介護」、技能実習、特定技能1号という枠組みを通じた介護従事者の増加が予測される。ベトナム側における介護従事者育成に係る教育機関との連携を図りながら持続可能な体制の提言および教育支援を図っていきたいと考えている。

②ビジネス日本語研究会：

2010年に設立、仕事の現場で必要とされる日本語力の理念の構築と教育方法論の研究を行い、教育内容体系・教材例・教育方法例を提起することによって国内外で日本語を使って仕事をする外国人を支援、加えて、日本語教育関係者、学習者、企業、行政等のネットワークづくりを目的としてきた。2020年度から3年間、文化庁委託「就労者に対する日本語教師【初任】研修を行い150名が修了をした。ベトナムでも過去数回セミナーを行っている。

③協働実践研究会：

2010年に設立した本研究会は、国内の教育現場への働きかけと同時に、他分野との連携、協働にも取り組んできた。また、活動範囲については、日本国内にとどまらず海外にも展開してきた。本研究会は、現在、海外（とくにアジア）に10数拠点をもつ。早くに設立した海外拠点では、すでに現地の教育事情にそくした独自の協働実践研究が展開しつつある。一方、ベトナムの2拠点は設立間もない拠点ではあるが、コロナ禍でも日本との協働によるオンライン長期型研修を実施し、さらには、昨年ハノイ国際セミナーにおいては、ベトナムの協働実践の取り組みを報告した。今後、ベトナムの教育界全体が目指す「アクティブラーニング」への転換において、日本語教育の協働実践は重要な示唆を提供することが期待される。

④フエ大学外国語大学：

フエ大学外国語大学日本語・日本文化学部は、フエ大学外国語大学において2006年に設立した学部である。学生約850名、教師20名のベトナム中部で最大規模を誇る日本語教育機関である。これまで多くの日本語人材を育成し、ベトナム国内のみならず海外でも多くの卒業生が活躍している。現在、日本語・日本文化学部は、アクティブラーニング型の日本語教育方法の開発とその研究にも取り組んでいる。とくにビジネス日本語教育については、ベトナムの日本語教育を牽引すべく教師の研修に力を注いでいる。今後、さらに教育内容の充実化を図り、国際的日本語人材を育成するために、互惠性の高い持続的な産学連携を推進し、ベトナムと日本の更なる関係構築に貢献することを目指している。